評価表

回数:　　回目

（所属機関）　　**審査員:**　　**発表番号:**

審査のカテゴリー		観点	評価	【メモ記入欄】 審査時のメモ（発表者にはフィードバックされません）
目的・意義	目的・仮説	・研究テーマの目的・仮説が明快であり、かつ自分なりの独創的な視点が含まれている。 ・挑戦的な研究テーマ設定ができている。	／5	
	研究の背景・意義	・研究テーマに関する先行研究や関連分野についてよく調べ、研究テーマの学問的・社会的意義や位置づけを理解できている。		
方法・取り組み	方法	・仮説に合った適切な実験・観察や調査が計画されており、かつ自分なりの創意工夫が見られる。 ・（チーム研究の場合）チームメンバーの強み・個性が活かされ、シナジーが発揮できている。	／5	
	取り組み	・課題や困難な点に、粘り強く、柔軟かつ自立的に取り組んでいる。		
考察・成果	考察	・得られたデータや結果に基づき、論理的で多角的、かつ独創的な考察ができている。	／5	
	成果	・独自の発見・発明や独自の研究方法の開発など、学問分野やテクノロジーへの貢献が認められる。 ・または、探究的な学習成果が学校教育の内容を超えた高い水準に達している。		
発表	発表の明快性・展開力	・研究テーマ・成果等のポイントがよく整理されたわかりやすい発表（ポスター・口頭）ができ、質問に対しても適切な対応ができた。	／5	**【審査コメント記入欄】発表者にフィードバックされます。**
	今後の発展性	・研究水準や今後の課題についての自己評価が適切である。 ・研究の目的・成果が明確に伝えられ、研究の学問的・社会的意義をアピールする発表ができた。 ・国際的に活躍する次世代の傑出した科学技術人材として期待される。		
【5段階評価の基準（絶対評価）】 5：優れて達成している　4：やや優れて達成している　3：概ね達成している 2：やや達成が不十分　1：全く達成できていない			／20	